

一年の歩み

<平成29年度年間活動日誌>

- H29 5.18 第1回全体会（各校区委員選出）
 5.27 平成29年度総会（活動方針など）
 6.10 ほたるのタベ（パトロール&模擬店）
 8.27 オールジャンルフェス
 To infinity and beyond～無限の彼方へ～
 11. 3 子ども・若者健全育成月間啓発活動
 11.16 第2回全体会

- H30 1.18 第3回全体会
 3. 4 第6回青少年フォーラム

<その他の活動>

- ・役員会（毎月）
- ・各中学校区委員会（随時）
- ・ブルーヒンメル発行
- ・青少年指導員としてのパトロール
- ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席

<連携活動>

- ・猪名川町青少年問題協議会
- ・六瀬総合センター運営協議会
- ・こころ豊かな美しい阪神北推進協議会
- ・猪名川町こころ豊かなまちづくり運動推進協議会
- ・猪名川町地域安全推進協議会
- ・猪名川町青少年指導員会
- ・猪名川町PTCAフォーラムへの後援・参加

編集後記

猪名川町青少年健全育成推進会議は、大人と若者が協力して猪名川町がより住みやすい町になるよう、1年を通して事業・研修会・会議等を行っております。そういった活動を行う事で、年々洗練され進化してきております。猪名川町が、よりよい町となるようにこの活動に協力して頂ける大人や子どもたちが増えていくよう今後も、猪名川町青少年健全育成推進会議の目的を伝え活動していきたいと思ひます。（広報委員 S）

発行
 猪名川町青少年健全育成推進会議
 会長
 太田 はるよ
 連絡先
 猪名川町地域振興部参画協働課
 （電話）072-766-8783



ほたるのタベ出店



青少年指導員パトロール



河川敷清掃

話

輪

ブルーヒンメル

和



「子どもたちの笑顔のために」

現在、社会現象となっている若者たちの様々な問題を自分たちのこととして捉え、一人ひとりが「何ができるのか？」を自問自答し、小さくてもできることから実践することだと思っています。

また、青少年健全育成活動は自己満足で終わることなく、何か問題が起こった時には、瞬時に学校・家庭・地域・行政・関係諸団体がお互いに連携が取れるように自分たちの「強み」と「弱み」をすり合わせ、日頃からお互いにネットワークを構築しておくことが何よりも喫緊の課題です。

そして、子どもたちには「失敗してもいいよ、またやり直せばいいよ、あなたはあなたでいいよ」と言えるような「地域のお節介なおっちゃんやおばちゃん」でありたいのです。そのために当推進会議は、引き続き「話」「和」「輪」という三つの「わ」を活動方針として、メンバー一丸となって活動してまいります。

みなさま方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

日々、進化する社会環境の中で、単なる「遊び場所」だけでなく、「機会」や「時間」、そして自分らしく振る舞える自分の「居場所」がない子どもが増えたような気がします。本来、子どもは、様々な体験を通して「自己選択」し、「自己決定」し、失敗を繰り返しながらゆとりと大人になっていくものです。たくさんの失敗経験は成功へ繋がる自分だけの「宝物」です。

その過程で自然に「自分は自分でいいんだ」という「自尊心」や「生きる力」を身につけながら成長していく子どもの姿を、手を出さずに我慢して、じっと見守ることが大切です。地域の大人として子どもや若者たちのためにできることはなんでしょうか。



会長 太田 はるよ

「子どもたちの笑顔を守るために」
 猪名川町青少年健全育成推進会議

第6回猪名川町青少年フォーラムP2
 SWING-BYの取り組み（スマホ・ステージ・ボランティア）P3～P5
 定期総会・全体会・校区委員会P6～P7
 猪名川町青少年健全育成推進会議の1年P8

第6回猪名川町青少年フォーラム

『ジコチュウ』からの脱却

～未来ある子ども達のために地域教育力を高めよう～



平成30年3月4日、文化体育館小ホールで第6回猪名川町青少年フォーラムを開催しました。

第1部は『ジコチュウ』からの脱却～未来ある子ども達のために地域教育力を高めよう～をテーマに、一般社団法人イドミイ代表理事 高橋 惇(たかはし じゅん)さんにご講演いただきました。

高橋さんが挑戦された自転車での日本一周プロジェクトの体験をもとにした講演をお聞きして子どもたちにとって、どんな教育が必要かを考えさせられました。大事なことは実体験＝やってみること。一歩踏み出す事で未来が開かれる。

子どもたちのやりたい事を尊重し、一歩を踏み出す為に周りのおとなや地域が協力し背中を押してあげる事が必要なのではないのでしょうか。

第2部は、「子どもから大人まで楽しく学べる21世紀型授業を体験しよう」をテーマにC-Learning(シーラーニング)という技法でパソコン、スマホを使用したワークショップを行いました。

第1部に引き続き、高橋 惇(たかはし じゅん)さんにコーディネーターとして進行していただきました。地域教育力を高める為にどうすればよいのか7グループに分かれ意見交流を行い、他者の考え方や意見を聞く事で地域教育力を高める為に何が必要か、各グループで活発な意見が飛び交いました。

通常多数の参加者の場合、意見を出す人、出さない人に分かれていますが、C-Learningというネットを使用する技法を用いる事で多数の活発な意見を聞き出す事ができ地域教育の活性化につながりました。



コーディネーター

一般社団法人イドミイ 代表理事 高橋 惇 さん

司会 人見 和子 さん

一般参加者 約60名

来賓 猪名川町町長 福田 長治 様

兵庫県議会議員 越田 謙治郎 様

猪名川町PTA連合会 会長 後 利彦 様

一般社団法人川西青年会議所 理事長 森本 猛史 様

SWING-BYの取り組み

青少年健全育成推進会議では平成22年に、若者達の活動グループ『BEAT』を立上げ、現在は「SWING-BY」に名前を変え、「スマホ部会」「ステージ部会」「ボランティア部会」の3部会を設置し地域活動を行なっています。コンセプトは、「若い力で地域の活性化をはかる!」「できることは何でもやる!」「決して諦めない!」オールジャンルフェスなどプロジェクト期間中は、ボランティア活動や広報活動などを地域で積極的に展開する。具体的な取り組みとして、日生中央駅前での「挨拶運動」と「清掃活動」を行う。この他、福祉施設への訪問や地域の夏祭りのお手伝い、模擬店の出店など、様々なオーダーに対しては、青少年健全育成推進会議の役員と相談しながら、積極的に対応する。

スマホ部会

平成25年度に子ども若者のネットやスマホに関する取り組みをスタートし、5年目を迎えた今年、SWING-BY実行委員会のメンバーは一つの到達点にたどり着いた!

これまで積み重ねてきたSWING-BYによるスマホやネット利用に関する出前授業は、町内外の小中学生に対して行った授業の受講者数、延べ10,000名を超える偉業を達成した。

一人でも多くの人々に安全で安心なネット利用をしてもらうために願いを込めて!



総勢10,000名へのスマホの授業実施を達成!!

SWING-BY実行委員会は、ユニセフが主宰する世界子供白書2017ワークショップに参加しました。日本の若者が如何にデジタル世界と共に生きているかについて、SWING-BY実行委員会のメンバーは同世代の若者と自分たちの考え方やデジタル世界での自分自身について話し合った。また、「スマホサミットinひょうご2017」公開討論会表彰式では金澤副知事から、表彰状を受け取りました。



SWING-BY 世界へ



特別賞受賞



<https://www.youtube.com/watch?v=ufpZVBwmUU4> ワークショップyoutube動画

<https://www.unicef.or.jp/news/2017/0270.html> 世界子供白書2017紹介ページ



オールジャンルフェス2017

To infinity and beyond

～無限の彼方へ～



2017年8月27日 (日)

若者たちによる最高のステージ！！

夏の思い出『オールジャンルフェス』開催



幼稚園～高校生の若者たちが、この日の為に練習を重ねた成果を発揮し
総勢150名による迫力ある最高のパフォーマンスを披露！！
ダンスやバンド演奏、ダブルダッチなど6つのユニットで会場は若者の
熱気で包まれ、フィナーレは、BIG BAND！出演者全員で「恋」と
SWING-BYのテーマを歌い踊り無限の彼方へとつながりました。

後世へ繋げ！若いボランティア魂

ボランティア部会の活動は、平成29年9月より5期目に突入。活動が続けることが危機的な状況となり挫折そうなる時もありました。
先輩から受け継いだボランティア魂を奮い起こし、従前からの「清掃活動」をはじめ、地域と連携した「出店・演奏活動」など若者の持つ機動力を存分に発揮し精力的なボランティア活動を展開しました。



桜まつりで演奏



楊津小学校盆踊り手伝い



住民運動会演奏



ほたるのタベ出店



朝の清掃活動

折れど心まぎ

- ボランティア部会の主な活動
- ＜清掃ボランティア＞
 - ・早朝日生中央駅前清掃(原則週二回)
 - ＜福祉ボランティア＞
 - ＜行事ボランティア＞
 - ・桜まつり「出店」(29年4月)
 - ・ほたるのタベ「出店」(29年6月)
 - ・楊津盆踊り「出店」(29年7月)
 - ・日生夏祭り「出店」(同上)
 - ・楊津運動会「参加・演奏」(29年10月)

定期総会

5月27日、平成29年度総会を開催いたしました。
前年度の活動報告および今年度の活動方針・活動計画などが協議され承認されました。



校区委員会



六瀬校区委員会

1月26日(金) 六瀬中学校校区委員会を開催しました。「スマホやネットの使い方」というテーマで、どちらを選んだらよいか迷うような質問を参加者に投げかけ、「いずれかの立場を取ってその選択肢を選び意見交換する」といった形式で考えを深めました。参加者全員が同じ選択肢を選ぶことは一度もありませんでした。それでも、参加者の方々が話しされた理由に共感しながら、互いの考えを深め合うことができました。考え方は人それぞれであっても、相手の考えに耳を傾けてコミュニケーションを取っていくことの大切さを改めて感じるような機会になりました。



中谷校区委員会

中谷中学校校区委員会を、12月21日(木)・2月8日(木)に開催しました。テーマは「最近の子どもたちの様子について」「子どもとの関わり方について」でした。わが子ではない子どもが危険な遊びをしていたらどう対応するか。いじめについて、どうすれば子どもがお手伝いをしてくれるか。子どもたちの学校での様子等、身近な子どもたちに関わる考えや現状を地域の方と共に意見交換することができました。



猪名川校区委員会

2018年1月19日に猪名川校区委員会を行いました。主に子どもたちとの関わりについての話し合いをし、子どもたちにどんな大人になってもらいたいのか、子どもを守る・育てるにはどうしたらいいのか話をしました。

私たちは、人を大切にする大人・思いやりの気持ちを持った子に育ててほしい。そのために大人が子どもに進むべき道を示しながら、優しく、厳しく子どもたちを守っていかなければならない。こういった教育をしていくためにも保護者だけではなく、地域や学校が互いに協力・連携しながら進めていかないとはいけなかったと考えました。

第2回全体会

「自己肯定感を高めるために」



自己肯定感、自尊感情を高める事は誰が必要としています。講師の野坂氏は、昔は泣き虫であったそうです。周りの大人も悪気があった訳ではないが周りの人の声で自分に自信を持つ事なく大人になってしまいました。

しかし、今では講師となるまで自己肯定感、自尊感情を高める事ができたそうです。その体験を踏まえてホワイトボードを使い、自身の意見を周りの人に伝え、自尊感情・自己肯定感を高めていくトレーニングを参加者全員で行いました。

株式会社ひとまち
ホワイトボード・ミーティング認定講師
野坂 匡樹氏

第3回全体会

「世代間の常識ってなんだろう？」
～子どもと大人の常識のズレから生じる問題とは～



「子どもの将来をどう考えていくか？」というところに焦点を当てていく必要性についてお話し頂きました。世代間の常識は環境の違いにより大きく左右されるとの事。

今後は、地域の教育力をどう生かすか考えていかなければならない事、高い規範意識をもった生活をお子たちにさせてあげる事が必要で、環境だけでなく、自愛や他者の事を思う気持ちを育み親や周りの大人は子供たちに寄り添う事が大事な事であるという事を強く訴えておられました。

猪名川町教育委員会学校教育課学校教育指導員
北村 昌信氏

